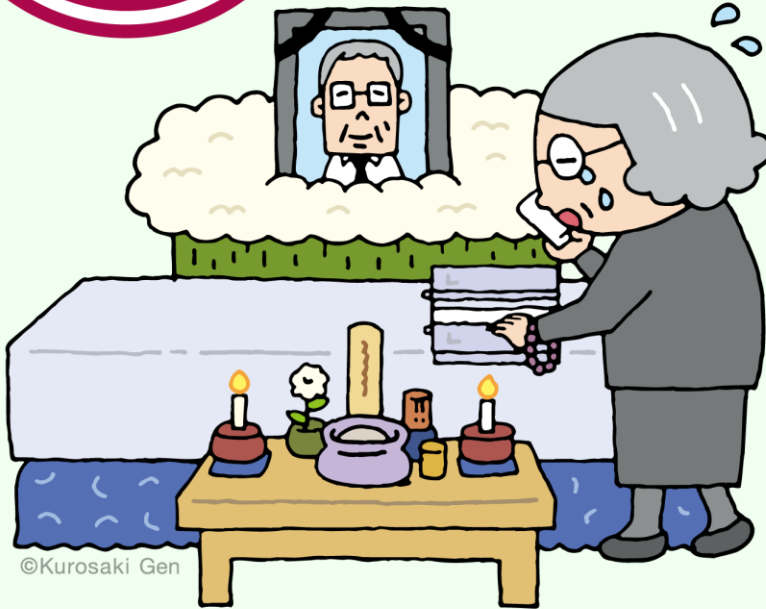


見守り 新鮮情報

事例1 葬儀場において、ドライアイスを敷き詰めた棺桶の小窓を開けたそばで、意識不明

の状態で発見され、搬送先の病院で死亡した。

(70 歳代)



©Kurosaki Gen

事例2

自宅において、ドライアイスで敷き詰めた棺桶内に顔を入れた状態で発見され、死亡が確認された。

(60 歳代)

顔を入れないで！ 棺内のドライアイスで 二酸化炭素中毒

ひとこと助言

棺の中に
顔を入れないで！



見守るくん

- ご遺体の安置の際に棺内に置かれたドライアイスによる二酸化炭素中毒と疑われる死亡事故が起きています。ご遺体に話しかけたりする際は、棺内にたまって高濃度となった二酸化炭素を吸い込まないようにしましょう。
- 棺は密閉されているわけではないため、棺内の二酸化炭素は室内に漏れ出ています。十分な換気を行いましょう。
- 通夜から告別式の間に、ご遺族等が寝ずの番(線香番)を行うことがありますが、なるべく複数人で見守りましょう。飲酒して酔った状態で棺に近づくのはやめましょう。
- 棺の近くにおいて気分が悪くなったら、すぐに換気の良い場所に移動しましょう。症状があれば医療機関を受診し、緊急性が高い場合は119番通報しましょう。
- 棺の窓やふたの開閉等で不明なことがあれば、葬儀業者に確認しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第477号(2024年3月5日)発行：独立行政法人国民生活センター

豊中市立生活情報センターくらしかん

消費生活相談：06-6858-5070